

農林水産部

仕事の窓

2

耕作放棄地ゼロを目指して

Point

「遊休農地発生防止・解消に向けての説明会」を開催しました。

1 去る5月31日（木）、那覇市内の沖縄県水産会館において、耕作放棄地の発生防止・解消及び有効活用を図るため、農林水産省と沖縄総合事務局共催による「遊休農地発生防止・解消に向けての説明会」が沖縄県、市町村、農業会議、農業委員会及びJAなどの担当者（約60名）の参加の下開催されました。

べき農振農用地区域内の農用地においても耕作放棄地の増加が懸念されています。

・耕作放棄地面積（農林業センサス）の現状を見ると、

全	国	平成12年	343.0千ha	
↓	平成17年	386.0千ha		
沖	縄	県	平成12年	3.4千ha
↓	平成17年	3.2千ha		

・耕作放棄地率、

全 国	平成12年	8.1%
↓平成17年		9.7%
沖 縄 県	平成12年	10.1%
↓平成17年		10.9%

しかしながら、近年、高齢化、労働力不足等により耕作放棄地は年々増加傾向にあります。また、優良農地として有効利用す

・優良農地として確保しておくべき農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地区域内の耕作

放棄地面積（平成18年農業資源調査）を見ると、

全国	153.0千ha
耕作放棄率	3.5%
沖縄県	1.7千ha
耕作放棄率	4.0%

3 こうした耕作放棄地の増加傾向から、国の経済財政諮問会議等において、「耕作放棄地の発生防止・解消のための措置の強化」が示され「耕作放棄地ゼロを目指す」とされたところです。

その対策に必要と思われる、①担い手への利用集積等の取組支援 ②企業等の参入円滑化への取組支援 ③農地等を集落等共同で管理する取組支援 ④市民農園としての活用への取組を支援 ⑤飼料増産・放牧等への取組支援 ⑥植林転用により森

林として管理するための取組支援等が打ち出されました。

4 本説明会では、農林水産省農村振興局、当局担当者から「遊休農地の現状、発生防止・解消に向けた今後の取り組みについて」説明しました。その後、耕作放棄地解消・発生防止策を有効に活用するために、市町村において今後5年程度を目途に耕作放棄地ゼロを目標とする「遊休農地解消計画」を策定することとし、その計画の策定に当たっての留意事項等について説明を行いました。

会議の中では、沖縄県における耕作放棄地ゼロを目指して、国、県、市町村等関係団体が一致団結して取り組んでいくことが確認されました。

